

主要施策の概要

北大阪急行線延伸の実現 ～箕面市の都市骨格の背骨を成す鉄軌道「北大阪急行線」2020年度開業へ～

<北大阪急行線延伸の事業化合意について>

- 平成26年3月末に、大阪府、阪急電鉄(株)、北大阪急行電鉄(株)、箕面市の4者による「合意書」に調印
【合意の概要】 開業目標:平成32年度(2020年度)、総事業費:650億円、負担割合、運行主体など
- 合意に向けて箕面市の負担想定額185億円の債務負担行為を設定

<箕面市財政運営基本条例の策定>

- 将来にわたって健全で規律ある財政運営の確保を図り、市民の福祉を維持向上するため、「箕面市財政運営基本条例」を策定
- 施策実施にあたっての財源確保や市債発行等のルールと、中長期的な財政見通しの策定や財政状況の公表など財政運営の計画性と透明性を確保し、収入にあわせて支出を組むという組織本来の姿を制度化
- 特に、将来にわたり財政支出を伴う事業を「特定事業」として位置づけ、長期財政試算のうえ、財政支出ルールを定める。直近では、「北大阪急行線の延伸事業」が対象となり、箕面市が負担する約185億円の費用を、競艇事業収入と基金のみで賄うルールを条例化

<北大阪急行線の延伸と周辺のまちづくり> 【予算額 合計 1,309,041 千円】 (平成25年度補正予算額 461,146 千円 / 平成26年度当初予算額 847,895 千円)

- 平成32年度開業をめざし、新年度は、鉄軌道の詳細設計ほか、事業許認可に向けた各種手続きに着手
- かやの中央地区周辺のまちづくりについて、子育て支援を中心とする公共施設整備や民間施設の誘致策など、駅前広場の整備や立体利用に向けた検討
- 船場地区周辺のまちづくりについて、文化・スポーツ、健康機能など、まちづくりの核となる施設誘致や新御堂筋をまたぐ歩行者デッキ、駐輪場の検討

I 安心・支えあい最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進める。

1. 大人の風しん予防接種費用の助成とがん検診の無料化の継続 【予算額 326,301 千円】

- 妊娠を希望し、風しんの抗体が十分でない女性等に対する風しん予防接種費用の一部助成を継続する。
- 府内で唯一であるがん検診の無料実施を継続する。(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん及び前立腺がん)

2. 健康スポーツの促進 【予算額 147 千円】

- 地域の公園など身近なフィールドを利用したラジオ体操や滝道でのウォーキングイベントなど、市内企業等の協賛を得て、市民が無理なく長く運動を続けられる環境を整備する。

3. 市立病院における医療の充実 【予算額 457,703 千円】

- より弾力のある経営を行うため、職員定数を475人から530人に変更し、医療従事者を増員するほか、X線画像撮影装置をはじめとして手術や検査関係設備を整備し、診療体制を充実する。
- 「市立病院改革プラン」に基づき収益の向上に努め、前年度から1億9百万円の赤字を圧縮する。

4. 「災害に強い箕面」の実現 【予算額 73,014 千円】

- 昨年度に引き続き、地域の災害救助の拠点となる公園等10か所(平成28年度までに60か所)を「地域防災ステーション」として、消火・救助用資器材などを納めた大型ベンチを配備する。
- 木造住宅の耐震診断の無料化や耐震設計、耐震工事に必要な費用の一部助成を継続する。
- 防災対策の一環として、新たに設置する街区表示板に避難所を併記し、避難場所の周知を図る。

5. 市民安全対策の充実 【予算額 60,504 千円】

- 「安全の拠点」としての市役所の機能を高め、警察との連携を強化するため、牧落交番を交差点から目立つ市役所の南東角地付近に移転する。

6. 街路灯・公園灯のLED化の推進 【予算額 272,838 千円】

- 明るい街づくりと環境負荷の低減のため照明のLED化を推進し、市が設置している街路灯・公園灯の省エネ化率100%(幹線道路等は高圧ナトリウム灯に改修済)を達成する。

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 英語教育の充実 【予算額 5,823 千円】

- 国際理解やグローバル化社会を生き抜く力を育む教育を推進するため、平成27年度から全小学校の全学年で毎日の英語教育を実施することとし、平成26年度の2学期から試行カリキュラムを開始する。

2. 全小中学校・全クラスへの電子黒板の導入 【予算額 465,291 千円】

- 動画や音声等を効果的に活用して学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業の実現をめざして、すべての小中学校の全クラスに電子黒板を導入し、無線LAN環境を整備する。

3. 子育て支援の充実 【予算額 870,003 千円】

- 国の待機児童対策を超えた真の待機児童ゼロをめざして、4月に桜井地区と市立病院敷地内に、12月に彩都地区に、新たに3つの保育所を開設する。
- 東部地域の待機児童への緊急対策として、4月に豊川支所2階を活用した簡易保育所を開設する。
- 市立保育所の老朽化対策及び入所児童と周辺住民等の安全対策を目的として、東保育所のトイレのドライ化や恒久的に不足している桜ヶ丘保育所の駐車場を増設する。

4. 子どもの医療費助成の継続 【予算額 436,620 千円】

- 「中学校卒業まで(通院・入院とも/所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成や、家庭保育が困難なため入院する未熟児の医療費助成を継続する。

5. 小児インフルエンザ予防接種への助成制度の継続 【予算額 20,248 千円】

- 小児インフルエンザの流行を抑制するとともに重症化を予防するため、小児インフルエンザ予防接種費用の一部助成(生後6か月から小学6年生を対象に2回を助成するクーポン券方式)を継続する。

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. 桜井駅前地区の再整備 【予算額 3,085 千円】

- 駅前広場東側で進行する土地区画整理事業にあわせて、新年度は、桜井駅前広場の歩行者空間の設計に着手し、平成27年度の完成をめざす。

2. 西南公民館の再整備の検討 【予算額 9,578 千円】

- 耐震性とバリアフリーに課題を抱える西南公民館の再整備について、周辺に広がる公共施設群と一連のものとしてさらに力を発揮できるよう、建て替えも視野に入れた基本構想を策定する。

3. 中央図書館のリニューアル 【予算額 61,313 千円】

- より多くの皆さまにご利用いただくため、来館者にゆっくりと過ごしていただく屋外テラスの整備や、親子連れにも利用しやすいキッズコーナーの設置などの施設リニューアルを実施する。

4. 「箕面市農業公社」の本格稼働 【予算額 21,317 千円】

- 平成25年度に発足した農業公社を、一般社団法人として本格稼働させ、中学校給食を中心に定期的・定量的に箕面産の食材が流通するシステムを確立し、都市に残る貴重な農地を持続・保全していく。

5. 宅地開発の事業者等への緑化負担税の検討 【予算額 329 千円】

- 将来にわたって豊かなみどりを維持・保全していくための安定的な財源の確保に向け、有識者等による検討委員会を設置し、宅地開発の事業者等を対象とした「緑化負担」のための税制度創設をめざす。

6. ペットボトルの全戸収集に向けたモデル試行 【予算額 27,214 千円】

- 資源リサイクルの推進・環境負荷の低減のため、平成27年度からペットボトルの全戸収集を実施することとし、平成26年4月から一部地域でのモデル収集を開始する。

7. 土曜営業と利用しやすい窓口配置 【予算額 133,482 千円】

- 2月に開始した窓口の土曜営業など、身近で便利な市民サービスの向上をめざして、本館1階ロビー近くに国民健康保険や介護保険等の「保険総合窓口」を、別館1階に市税に関する「市税総合窓口」を設置する。